



IPO（上場）を目指す企業必見 労務管理・人事評価制度のポイント

日本一厳しい。が、誇りです。



IPO（上場）を目指すための労務・人事評価のポイント

近年、IPOの上場申請時における人事労務関連のコンプライアンス審査が厳しくなっています。上場を目指す企業の多くは、労務管理や社会保険について「業績を上げてから労働条件を整備したい」「コスト削減のため社労士の顧問は後回し」と問題を先送りにする傾向にあります。しかし、上場の直前期を迎え未払残業代が多額にあることが判明したことで、労働基準監督署の調査が入り是正勧告を受け、上場延期や承認取り消しといったケースが見受けられます。

さらに、上場企業に相応しい組織や人事制度の整備についても、重要な経営資源である「人」の定着、育成、評価、処遇に関して合理的な仕組みがあるかが問われます。「IPOの早期実現」「予想外のコストを掛けずに計画通りIPOを実現」する為には、労務管理や社会保険、そして人事制度の整備について早期対策が必要となります。

本セミナーでは、IPO労務相談顧問である特定社会保険労務士総合経営サービスと、人事評価制度の導入実績No.1のあしたのチームの共催で労務管理・人事評価のポイントを解説いたします。

こんな方におすすめ

- ・現在、IPO（上場）を目指している会社の経営者・人事労務管理担当者様
- ・将来的にIPOについてご関心のある経営者・人事労務管理担当者様
- ・未払残業代や労働時間管理・従業員の健康管理の問題、健康経営にご関心のある方
- ・IPO審査で大事な人事評価のポイントを知りたい方
- ・人事評価制度を整備し、社員のモチベーション向上と将来的なIPOを備えておきたい企業様

5月13日（木） 13:00～14:00
(受付開始/12:50～)

参加無料

登壇者紹介

株式会社あしたのチーム 取締役 堤 雄三



1983年生まれ。兵庫県出身甲南大学経営学部卒大学在学中に飲食店を経営。経営権譲渡後に既卒で株式会社エス・エム・エスに入社。メディアセールス部にて医療系人材サービスに携わる。その後、外資系医療機器メーカーのコヴィディエンジャパンにて営業・マーケティングに従事。2014年8月、あしたのチームに入社。大阪支社の立ち上げから参画し、以後営業部長として沖縄県を除く全国46都道府県のエリア担当部長を歴任。給与コンサルタントとして、約150社を担当。毎年開催される、あしたの人事評価アワードにて担当企業が延べ9社受賞するなど、顧客を運用コンサルティングにより高い企業業績向上に導いた実績多数。

社会保険労務士法人総合経営サービス肥後労務管理事務所 特定社会保険労務士 洞澤 研



大学卒業後、東証一部上場企業販売職を経て、2004年に社会保険労務士試験に合格する。試験合格後は株式会社ドン・キホーテ（東証一部上場企業）、三井不動産関連会社（東証一部上場企業連結対象）にて労務管理を経験。2010年10月、社会保険労務士として開業し数名規模から上場企業まで通算500社以上の就業規則作成や労務相談、労務監査、過重労働対策コンサルティングや助成金の対応を行う。2019年に総合経営サービスグループと経営統合し現職。IPOに関しては顧問先企業が2016年、2019年に上場し、現在は2021年度および2022年度のIPOを目指す企業の労務面のサポートを行っている。

PROGRAM

■ 13:00～13:30

タイトル：

IPOを目指す企業が知っておくべき
労務管理・社会保険のポイント

講演者：洞澤 研

■ 13:30～14:00

タイトル：

企業価値を向上させ、従業員の意欲を
高める人事評価制度のポイントについて

講演者：堤 雄三

参加特典

・セミナーレジュメ



お申込み

お申込は
こちら



あしたのチーム

検索

<https://www.ashita-team.com>



5月13日



13:00～14:00



オンライン



無料